

# 令和7年度事業「医療職から求める施設ケア(入所継続しながらのケア)」研修会

◆開催日時 令和8年1月26日(月) 14時～16時  
◆テーマ 医療職から求める施設ケア(入所継続しながらのケア)

◆吉田副会長挨拶

◆グループワーク 「医療職との連携(報連相)するにあたり迷うこと～医療職へ聞きたいこと～」  
◆コーディネーター 八戸地区認知症高齢者グループホーム協議会 副会長 菅原 孝明 氏

◆講演 医療職から求める施設ケア(入所継続しながらのケア)  
◆講師 医療法人 すみれ会 理事長 医師 石原 融(とおる) 氏  
◆会場 八戸市総合保健センター 3階会議室(田向)  
◆参加人数 28名



2026年1月26日(月)医療法人 すみれ会 理事長 医師 石原 融 先生、当会の菅原副会長より「医療職から求める施設ケア」研修会を開催しました。研修会では、「医療職との連携(報連相)するにあたり迷うこと～医療職へ聞きたいこと～」について、グループで話し合っており、それについて、医師の石原様より、医療からの視点でご指導いただきました。

## 〈グループワークでの意見〉◆菅原副会長

(医療職への伝え方)

医療職へ報告する内容の順番を教えてください。(結果から？経過を追って説明？)

〈様子を見ておいて〉

看護師より「様子を見ておいて」と指示された際、どの程度(体調変化の上限と下限、静観)見ればよいのか教えてください。

〈病院に行く判断基準〉

病院に行く程度の判断(例えば金曜日の午後熱が出始めたという時に病院へ行っておい方がいいのか教えてください。

〈看取り〉

看取りの方で、発熱時・サチュレーション等これ位の数値になったら報告してほしいという様なものがあれば教えてください。

〈家族への説明〉

ご家族への連絡は、病院側から説明した方が、ご家族も安心するし、分かり易いのだと思いますがいかがでしょうか。

◆菅原副会長



## 〈講演〉◆石原 融 先生

(医療職への伝え方)

重要なところから伝えた方がいいです。まず今何が問題で、困っているのかを話してもらって、急ぎなのかどうかを判断します。あとは医師からこれはどうなの？これはどうなったの？という話をするので、まずはどういう状態なのかを簡潔に伝えてもらった方がいいです。

次に伝えてほしいことは、食事がどうなのか？、食が落ちてきていないかどうか？、ADL動きが悪くなっていないかどうか？排便(どんな便が出ているのか？どれ位出ているのか？)、精神的な点揺れているのか？落ち着きがないのか？暴れたりしていないかどうか？

職員同士で何でも気付いた事を、話し合える関係があるのが一番よく、職員の中でも新人がいたり、ベテランがいたりスキルも違ってくるので、どこに問題があるのか、それが個人個人ではなくて、リーダー的な人が意見をまとめて、それを看護師それから医師に伝えていくという流れが一番いいと思います。

急変時に報告してほしい事は、まず意識レベルがどうなのかを伝えらう。あとバイタル(血圧が高いのか？低いのか？、脈は？)どこら辺を痛がっているのか(胸を痛がっている場合、心筋梗塞、脳梗塞とかを疑い)、喀痰があるかどうか？などです。

〈様子を見ておいて〉

緊急性が無く、経過をみて何かあれば連絡報告をくださいの事を「様子を見ておいて」という言い方をします。

〈病院に行く判断基準〉

まずは家族が病院の受診を希望しているかどうかです。リーダー的な人とよく相談しながら(通常は、看護師、医師に判断を仰いで)受診する。連絡がつかない場合もあるので、介護職の中でルール化しておいた方がいいと思います。家族が受診希望していて、血圧が下がっている、脈が遅い(30台)、サチュレーションが下がっている(ギリギリ88%位)場合また胸が苦しんでいる、意識レベルが下がっている等、緊急性がある場合は救急搬送する。

家族が看取りという判断で、受診希望してなくて、病院での検査・治療を希望しないのであれば、直ぐに病院へ行くという選択肢にはならないのではと思います。

〈看取り〉

家族と相談し、入院を希望しているのか、そのまま施設で看取っていくのかが、判断基準になります。看取りという判断をしていけば、そこで慌てる必要はないですが、それが無い場合救急搬送しなければいけないとなります。

事前にご家族の意向をお聞きし(積極的に加療を求めるのか？施設内で訪問診療医の範囲で加療を求めるのか？)医療に関する同意をとっておき、それに則って行うのがよいと思います。

施設での看取りの場合はこうですと、ご家族によく説明、同意をとっておいた方がいいです。例)夜中に亡くなって、死亡診断は朝方先生が来てからになります等、そうしないとトラブルになります。施設で看取りというのが決まっています、前段階の状態をご家族様へ報告し、また医師、医療職へ報告していれば、最後の時に間に合う、間に合わないについて、ご家族様とはトラブルにならないのかなと思います。

〈家族への説明〉

第一報は施設からが責務だと思いますので、施設側から伝えて、専門的な質問があった場合は、一旦持ち帰らせて頂いて、説明できる方に連絡してもらおうというのが良いと思います。

◆石原 融 先生



〈石原先生、菅原副会長をはじめ参加された会員事業所の皆様、そして委員会の皆様本当にお疲れ様でした〉